

科目名	成果発表								年度	2025
英語科目名	Senior Presentation								学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 2年次	必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習	
担当教員	石川和希	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツアパレルメーカー			
【科目の目的】 在学中に取り組んだプロジェクトや実習経験を発表して、その成果や学びを共有することを目的とする。学習成果の発表を通して、在学中の学習達成度や改善点を確認しながら自分自身の学習評価に繋げる。										
【科目の概要】 卒業展示会に向けた成果発表のための資料展示および発表準備を実施する。自分自身の専門分野や関心領域について専門知識や技術力をデモンストレーションし、聴衆や企業に対して在学中に習得した知識やスキルを実践的な形で展示する。										
【到達目標】 到達目標 A：在学中の学習結果やプロジェクト成果の公表を通して、自身の成果を他者に伝える能力を養う。 到達目標 B：聴衆や企業からの評価を受取り、これまでの学習の過程や成果を振り返り自身の学習評価の機会として役立てる。 到達目標 C：成果発表を自身の興味や能力を確認する機会として活用し、自分の強みや興味を再確認しながら将来の進路やキャリア展望を検討する。										
【授業の注意点】 遅刻や欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻や欠席は成績評価に影響するため注意してください。授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力		
到達目標 A	成果発表を通じて、自身の成果を他者に伝える能力を養い、成長した点や改善の余地を自己評価することが出来る。			在学中の学習結果やプロジェクト成果を共有することが出来る。				到達目標の達成度として不十分		
到達目標 B	習得した知識やスキルを実践的な形で展示しながら、これまでの学習の過程や成果を振り返り自身の学習評価の機会として役立てることが出来る。			習得した知識やスキルを実践的な形で展示することが出来る。				到達目標の達成度として不十分		
到達目標 C	成果発表から得た第3者からのフィードバックを、自分のプレゼンテーションスキルや学習成果を改善するための貴重な情報源として自己啓発に繋げることが出来る。			成果発表を自身の興味や能力を確認する機会として活用し、自分の強みや興味を再確認しながら将来の進路やキャリア展望を検討出来る。				到達目標の達成度として不十分		
【教科書】 特になし										
【参考資料】 特になし										
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

